

2016年文系第1問

- 1  $k$  を実数とする。放物線  $C: y = -2x^2$  と直線  $\ell: y = kx - 2$  の交点を P, Q とする。

- (1) 点 P の  $x$  座標を  $\alpha$ , 点 Q の  $x$  座標を  $\beta$  としたとき,  $\alpha + \beta$  と  $\alpha\beta$  の値を  $k$  を用いて表せ。  
 (2) 点 P, Q における  $C$  の接線をそれぞれ引き, その交点を R とする。 $k$  がすべての実数を動くとき, 点 R の軌跡を求めよ。

$$(1) kx - 2 - (-2x^2) = 0$$

$\therefore 2x^2 + kx - 2 = 0$  判別式  $D = k^2 + 16 > 0$  より,  $k$  の値によらず異なる 2 点で交わる。

この方程式の解が  $\alpha, \beta$  なので、解と係数の関係により、

$$\underline{\alpha + \beta = -\frac{k}{2}, \quad \alpha\beta = -1}$$

$$(2) P(\alpha, -2\alpha^2), Q(\beta, -2\beta^2), \quad y' = -4x \text{ より,}$$

$$P \text{における接線は, } y = -4\alpha(x - \alpha) - 2\alpha^2 \quad \therefore y = -4\alpha x + 2\alpha^2 \cdots ①$$

$$Q \text{における接線は, } y = -4\beta x + 2\beta^2 \cdots ②$$

$$① - ② \text{ より, } -4(\alpha - \beta)x + 2(\alpha^2 - \beta^2) = 0$$

$$\therefore -4(\alpha - \beta) \left\{ x - \frac{1}{2}(\alpha + \beta) \right\} = 0$$

$$\alpha \neq \beta \text{ より, } x = \frac{1}{2}(\alpha + \beta) \quad \text{このとき ① より, } y = -2\alpha\beta$$

$$\therefore R(x, y) \text{ とおくと, } R\left(\frac{\alpha+\beta}{2}, -2\alpha\beta\right)$$

$$\therefore \begin{cases} x = \frac{\alpha+\beta}{2} \\ y = -2\alpha\beta \end{cases} \Leftrightarrow \begin{cases} x = -\frac{1}{4}k \\ y = 2 \end{cases} \quad (\because (1) \text{ より})$$

$k$  はすべての実数を動くとき、

点 R の軌跡は、直線  $y = 2$ 、